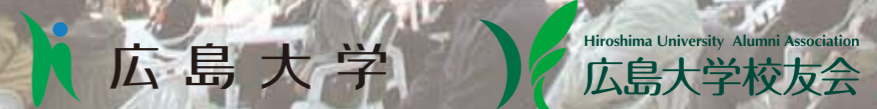
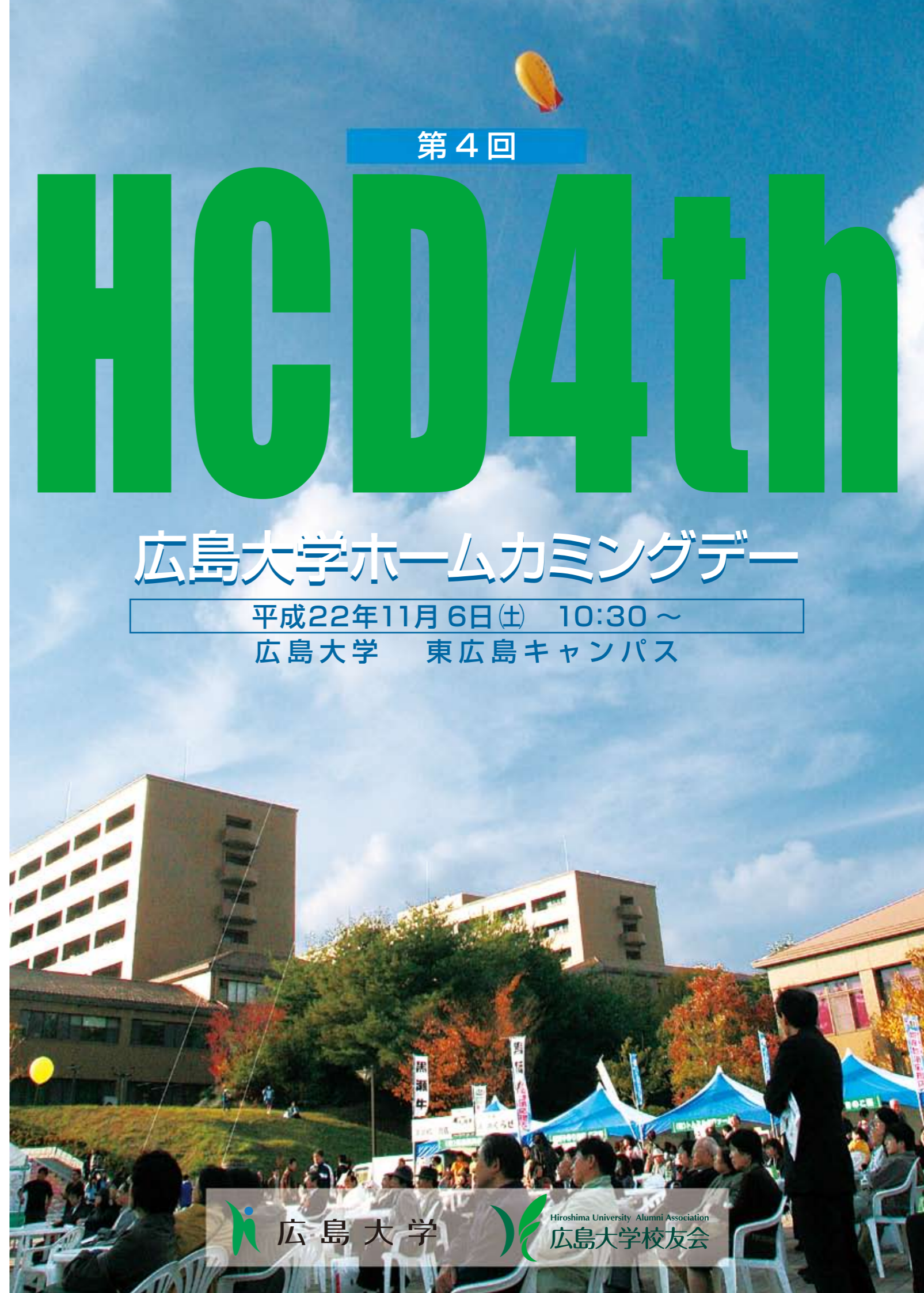




11月6日(土)の東広島キャンパスを盛り上げるホームカミングデー、大学祭、E-Storm 各実行委員の学生たち。広島市の中心、本通りをパレードしてアピールしました。(写真は東千田キャンパス旧理学部校舎前で撮影)



〒739-8514 東広島市鏡山一丁目7番1号 学生プラザ2F
 広島大学 校友会事務局
 TEL&FAX (082) 424-6015
 E-mail ● sec@phoenix.hirodai.jp
 Webサイト ● <http://www.hiroshima-u.ac.jp/koyukai/>



Hiroshima University Alumni Association
 広島大学校友会

2010年、広島大学



広島大学長
広島大学校友会会長
浅原利正

本日は、「第4回 広島大学ホームカミングデー」にお越しいただき、大変ありがとうございます。

今の季節は、1年の中でも特にキャンパスが美しい季節です。在学生たちの大学祭も行われておりますので、学生時代を思い出して、ゆっくりとキャンパスのにぎわいをお楽しみください。

国立大学を取り巻く環境は大きく変化し、科学研究の急速な進展、情報技術の進歩による国際化、国際間競争の激化、わが国で急速に進む高齢化、少子化などの社会環境の変化を背景に、大学は変革の時代を迎えています。数字に示すように広島大学は、わが国有数の大学として発展を続けています。変化を続ける社会にあっても「未来社会に貢献し、発展を続ける大学」を目標に、社会に貢献する優れた人材の育成と人類の発展に資する科学研究を推進するとともに、21世紀の人類が直面する諸課題を解決すべく、教育、研究、診療などに取り組んでおります。

11月最初の土曜日を「広島大学ホームカミングデー」として、卒業生や在学生、教職員など、広島大学に関わってこられた人々の交流の日としております。人と人がしっかりと繋がった健全な地域社会に作り直すためにも、広島大学を交流の拠点としてぜひご活用ください。そして、来年も再びこの東広島キャンパスのホームカミングデーにお立ち寄りくださいますよう、ご案内申し上げます。



評価

広島大学についての、国の内外からの評価です。

朝日新聞出版 「2011年版大学ランキング」 全国障害学生支援センター・2008調査 「障害学生支援ランキング」

学生の満足度 <small>東大、早稲田大よりも高い評価</small>	5位
障がい学生への支援 <small>受験・設備・授業・支援の全項目でトップクラス</small>	1位
「ネイチャー」誌への論文掲載数 <small>東北大、九州大より高い実績(2009年)</small>	6位
「サイエンス」誌への論文掲載数 <small>東大、京大に次ぐ実績(2009年)</small>	3位
社会人の受入れ <small>全大学でも4位の高評価</small>	1位
図書館の蔵書冊数 <small>名古屋大、筑波大を上回る蔵書冊数</small>	8位

※順位は国立大学順位

トムソン・ロイター 「論文の引用動向からみる 日本の研究機関ランキング 2011」

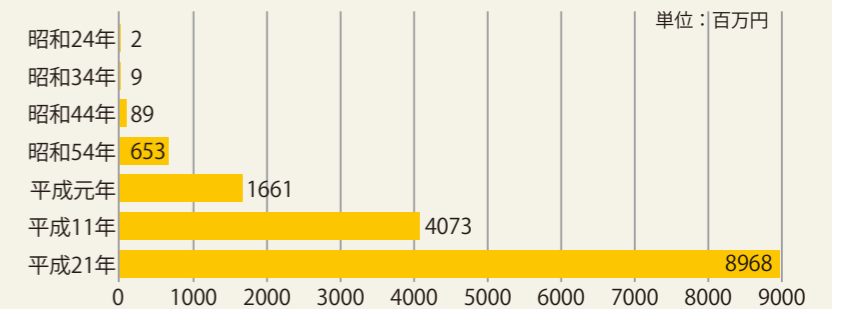
国立大学中	10位
全大学中	11位
全大学・研究機関中	15位

特許・リザルト 「2009年度 大学・研究機関 特許資産の規模ランキング」

13,546点	国立大学中	1位
	全大学中	2位
	全大学・研究機関中	7位

特許の注目度を指数化する「パテントスコア」を用いて、大学・研究機関における特許資産の規模を、質と量の両面から総合的に評価したもの

外部資金額推移



「科学研究費 補助金」 (平成21年度)

採択件数	949件
	全大学中 9位
配分額	22億1336万円
	全大学中 12位

2010年、広島大学のプロフィール

【学生数など】(平成22年5月1日現在)

学生	15,520人(学部10,969人、大学院4,540人、専攻科11人)
附属学校児童・生徒	4,129人
教職員	3,297人(役員8人、教員1,770人、職員1,519人)
留学生	1,062人、71カ国・地域

【教育研究組織】(平成22年6月8日現在) 11学部、12研究科、1研究院、1専攻科、1病院、5図書館、2全国共同利用施設、1中国・四国地区国立大学共同利用施設、20学内共同教育研究施設等、11附属学校

【教育研究拠点】(平成22年7月16日現在)

広島県内	3キャンパス、12地区、2サテライトオフィス
広島県外	3オフィス(東京、大阪、福岡)
海外	7(中国2、ロシア1、ケニア1、ブラジル1、ベトナム1、インドネシア1)
※産学官連携拠点	4(タイ、米国2、スイス)

学部卒業生数(平成21年度までの累計) 117,268人
学位授与者数(平成21年度までの累計) 博士9,697人、修士28,647人、法務博士180人
企業などとの研究協力協定締結状況(平成22年6月1日現在) 大学・企業等間39件、部局・企業等間14件
広島大学キャンパス等全面積(平成22年4月1日現在) 約313.8ha(うち東広島キャンパス249.2ha)

全体企画

卒業生、在学生、教職員、そして地域の方々……。広島大学を中心に、ゆかりの方々が集うイベントが「ホームカミングデー」。今回も、講演会や、在学生たちのおもてなし企画など、サタケメモリアルホール内外で、さまざまなイベントを展開します。



広島大学吹奏楽団がウエルカム演奏でお出迎えます。



現役生 & OB 合唱でつづるオープニングセレモニー

10:30 ~ 11:00 サタケメモリアルホール

今年のホームカミングデーは、『若者たち』で幕を開けます。合唱は、広島大学の現役合唱団2団と、グリークラブOB。会場の皆さんも、ぜひ、一緒に歌ってください。

プログラム

合唱 『若者たち』
『自然における神の栄光』

学長挨拶 浅原 利正
(広島大学校友会会長)

広島大学歌斉唱

『若者たち』

1966年の連続テレビドラマの主題歌としてヒットしました。その後も歌い継がれ、1970年代には音楽の教科書に掲載されるまでになって、世代を超えて定着していきました。

『自然における神の栄光』

ベートーベンの『ゲレルトの詩』による6つの歌曲の一つ。美しく荘厳な曲ですが、この頃、ベートーベンは耳の病気に死を思い詰めるほど悩み、弟宛に『ハイリゲンシュタットの遺書』を書いています。

指揮 難波 憲二

(広島大学名誉教授)

ピアノ伴奏 三浦 順

(広島大学教育学部卒業)

『広島大学歌』

昭和32年制定。学内公募で選ばれた文学部の学生の歌詞に修正を加え、教育学部福山分校音楽科が作曲をしました。今回は1番から3番まで通して歌います。客席の皆さんも、一緒に歌いましょう。

広島大学合唱団



病院への訪問演奏会

広島大学東雲混声合唱団 パストラール



夏の演奏旅行にて

広島大学グリークラブOB



入学式で新生勧誘のため演奏

2大講演会企画

小泉武夫氏

(東京農業大学名誉教授)



「食の冒険家が語る 旅への誘い」

11:00 ~ 12:00 サタケメモリアルホール

【プロフィール】

1943(昭和18)年、福島県で370年続いている造り酒屋に生まれる。農学博士。専門は発酵学、食文化論。小さい時から冒険心旺盛で、とりわけ自然や食に強く興味を抱き、日本国内はもちろん、世界84カ国の食べもの調査を行ってきた。日本エッセイストクラブからベストエッセイストに選ばれ、学校図書出版賞、産経児童出版文化賞など多数を受賞している。

文筆家としても知られ、食をテーマにした本は単著で110冊を数えている。最近では作家として時代小説まで発表。多才ぶりに磨きをかけている。

広島大学中央図書館「地域・国際交流プラザ」

ホームカミングデー企画展示 伝統科学へのいざない ～じゃばにーず・さいえんす～

11/6(土) ~ 11/30(火)
9:00 ~ 16:30 (土日は10:15 ~)



司馬江漢「地球全図」、杉田玄白ほか訳「解体新書」など、広島大学図書館と医学資料館の所蔵資料から、地理学と医学に関する貴重な古典籍を選んで紹介します。

東ちづる氏



「泣いて笑って

ボランティア珍道中～

心豊かに自分らしく生きる」

13:30 ~ 14:30 サタケメモリアルホール

【プロフィール】

広島県出身の女優。ドラマからラジオ、講演、CM、司会、エッセイ執筆など幅広く活躍中。

一方、骨髄バンクやドイツ平和村のボランティア、障がい者アート支援の活動なども続けている。これらのボランティア活動での思いを綴った『わたしたちを忘れないで～ドイツ平和村より』(ブুকマン社)をはじめ『〈私〉はなぜカウンセリングを受けたのか～「いい人、やめた!」母と娘の挑戦』(マガジンハウス)など著作も多数。近著に、いのち、人生、生活、世間を考えるエッセイ「らいふ」(講談社)。

観望会

第一部 17:30～18:30 (17:00集合)

第二部 18:30～19:30 (18:00集合)

広島大学宇宙科学センター 東広島天文台

国際的なビッグプロジェクトである「Fermiガンマ線天文衛星」の拠点となっている天文台。東広島キャンパスから少し離れた福成寺地区にあります。マイクロバスでご案内します。(事前予約者限定)

ホールロビー

10:30 「広島大学の歴史」
17:00 パネル展

「ホームカミングデー」恒例の写真展。広島大学文書館が所蔵するぼう大な写真の中から、毎年選りすぐって展示します。東広島キャンパスに移転する前の広島・福山時代の懐かしい校舎にも出会えます。



学生会館レセプションホール

10:30 学部・研究科
17:00 パネル
プレゼンテーション

学部・研究科が、それぞれの取り組みや現状をパネルでご紹介。広島大学の「いま」を実感していただけます。

15:30 懇親会(会費制)

17:00 今や「国際ブランド」となった『西条酒』を味わいながら、懐かしい先生の思い出話や“異業種交流”を、どうぞ。

ホール前広場

10:30 物産展

17:00 地元東広島市をはじめ、三次市、北広島町、世羅町、大崎上島町など広島県内市町が、新鮮な地産の物産を販売。毎年大人気!
この物産展の一部は、翌日11月7日(日)も開催しています。



学生企画



今年も在学生が「HCD 学生チーム」を結成し、ホームカミングデーのお客さまに楽しんでいただく企画に知恵を絞りました。ホームカミングデーのメイン会場周辺と出逢いの道、ホームページなどで、それぞれの企画を展開しています。HCDのピンクのTシャツを見かけたら、気軽に声をかけてください!

ぜひ、ぜひ、お越しください!

おしゃべり喫茶店
10:30 ~

経済学部1年 あかり
経済学部1年 つむぎ
教育学部4年 ゆうき
総合科学研究科 みっきー
生物圏科学研究科 チャーミー
フランスからの留学生 ヴァン
インドネシアからの留学生 アンドレアス

昔懐かしのジュースや駄菓子を販売しています。広大が千田町にあった頃の写真も展示! みんなで飲み会をしていたあの店、試験前に慌てて友だちのノートをコピーしていたあの文具屋さん……。きっと、気に入ってくださると思います。

ホームカミングデーを知っていただくのが私たちの担当。大学祭に続く出逢いの道の「広大クイズパネル」であなたの「広大度」をチェックしてください。学生プラザやホームページにも、お立ち寄りを。

▶ <http://hiroshima-hcd.com/>

- 教育学部1年 やまじゅん
- 経済学部1年 スマ
- 総合科学部3年 もーちゃん
- 工学部3年 コウ
- 工学部3年 さんざ
- 法学部4年 ローソン



ステージ企画を
ご覧ください!

**ランチタイム
ステージ**
12:00 ~ 13:30

- 経済学部1年 ひらゆう
- 文学部4年 あゆみん
- 経済学部4年 ゴマキ

講演会の中の昼休みをお楽しみいただく係です。懐かしい写真のライドショーやステージショーを企画しています。ステージショーを楽しみながら、おしゃべり喫茶店でのおつろぎください。

最後まで
お楽しみください!

**アフタヌーン
ステージ**
14:30 ~ 15:30

東ちづるさんの講演後にその日1日を振り返るライドショーを大画面で流します。音楽の演奏とともに、広場でのおつろぎください。

- 総合科学部2年 ゆり
- 経済学部2年 ソイチ
- 経済学部4年 あっちゃん

学部・研究科会場 企画



文学部・文学研究科

【復元古代製鉄炉による製鉄実験】
時 10:30 ~ 16:00
所 文学研究科正面玄関前広場 ①
県史跡カナクログ谷製鉄遺跡の製鉄炉モデルを復元し、古代製鉄法を検証します。

【世界とふれあう語学カフェ】
時 13:30 ~ 15:30
所 文学研究科 B153 講義室 ②
講義棟1階学生ロビー
イタリヤ・ミャンマー・中国などからの留学生とお茶を飲みながら、気軽に異文化とふれあいます。

問 文学研究科 運営支援グループ
TEL082-424-6604

教育学部・教育学研究科

【演奏会】
時 14:00 ~ 15:30
所 教育学研究科 F棟101号室 ③
オーディション選抜学生による演奏会

【体育セミナー】
時 16:15 ~ 17:45
所 教育学研究科管理棟2階 第一会議室 ④
教育講演会「広島大学の現在」
講師:坂越正樹 広島大学副学長

教育セミナー
「プロのバレーボールプレイヤーから教育者へ」
講師:増野彰氏(元・堺ブレイザーズ所属)

問 教育学研究科 総務担当
TEL082-424-6705

理学部・理学研究科

【生物科学同窓会】
時 13:00 ~ 15:00
所 理学研究科B603・B604 ⑤
OBの基調講演。懇親会では懐かしい写真を集めてのライドショーも計画。研究室訪問。(希望者) 生物科学同窓会庶務幹事
TEL082-424-7439

【化学科研究報告会と親睦会】
時 15:00 ~ 18:00
所 理学研究科E209講義室 ⑥
各研究グループの最新研究成果紹介と、同窓生と在学生・職員の交流。

問 化学科・化学科長
TEL082-424-7416

生物生産学部・生物圏科学研究科

【講演会と意見交換会】
時 14:30 ~ 16:00
所 生物生産学部 C206 講義室 ⑦
第一会議室

◆ 研究科長挨拶及び近況報告
◆ 講演会
学部生・大学院生のキャリアアップ教育に関連した講演
◆ 卒業生との意見交換会

問 生物圏科学研究科 運営支援グループ
TEL082-424-7904

先端物質科学研究科

【研究室公開】
時 10:30 ~ 14:20
所 先端物質科学研究科 ⑧

- 量子物質科学専攻研究グループ
- 分子生命機能科学専攻研究グループ
- 半導体集積科学専攻研究グループ

【ポスター展示】

問 先端物質科学研究科 運営支援グループ
TEL082-424-7004

国際協力研究科

【講演&ワークショップ】
時 14:00 ~ 17:00
所 国際協力研究科大会議室 ⑨

テーマ「低炭素社会をデザインする教育・研究」
招待講演/東京工業大学教授 日下部治氏
IDEC教員からの報告/広島大学教授 金子慎治
IDEC修了生からの報告/国際協力機構 東香織

ワークショップ「どうする? IDEC」
地域(産官学)内の連携戦略・修了生とのコミュニケーション戦略・国際環境リーダーの育成戦略ほか 使用言語:英語および日本語

問 国際協力研究科 担当
TEL082-424-6921

**医学部・歯学部・薬学部・
医歯薬学総合研究科・
保健学研究科**

【講演会】
時 16:00 ~ 17:30
所 広島市南区 霞キャンパス 医学部第5講義室
「心のキャッチボール」
達川光男氏(野球解説者)

【会場】
霞キャンパス

【親睦会】
時 17:45 ~ 19:00
所 広島市南区 霞キャンパス 霞会館2階食堂

問 医歯薬学総合研究科等支援室
TEL082-257-5601



粘菌が交通システムを設計した？ 理学研究科・小林 亮教授、伊藤賢太郎助教が イグ・ノーベル賞を受賞！ (2010年10月1日)



イグ・ノーベル賞

ある種の粘菌には「餌と餌の間の最短距離をつなぐ形に変形する性質」があります。大学院理学研究科・数理分子生命学専攻の小林亮教授、伊藤賢太郎助教らのグループは、アメーバのような「真性粘菌」を使って効率的な交通網を描き出すことに成功。この研究に対して、ユーモアにあふれた科学研究などに贈られる「イグ・ノーベル賞」を受賞しました。小林教授らは、この粘菌の動きを数理モデル化し、それをもとに最短経路探索問題の粘菌風ソルバーを開発。カーナビゲーションへの応用なども進めています。

大正時代の「広島県師範学校卒業生の銀時計」 が文書館に寄贈されました。

(2010年9月16日)



この時計は、故・中戸守夫さんが大正8(1919)年に広島県師範学校本科第一部を卒業した時、広島県から贈られたもの。ご子息の名方幸介さん(87歳=東京都在住)が寄贈してくださいました。県師範学校は、広島大学の前身校の一つで、当時、広島県は成績優秀者に対して、当時の有名ブランド、スイスLanco社の銀時計を贈っていました。中戸さんの銀の懐中時計は、90年以上もの時を経て、今も変わらず時を刻んでいます。



「学生プラザ」ができました。 周辺を「小丸スクエア」と命名、記念碑が完成。

(2010年7月29日)

学生プラザは、学部や研究科の枠を超えて外国人留学生や日本人学生が交流できる「学生交流の場」。2010年春に完成しました。これを機



記念碑と小丸法之氏

この1年も、広島大学の研究成果や活動が、社会から高く評価されました。ここでは主なものだけをご紹介します。各学部・研究科の最新情報は

▶「学士会館レセプションホール 学部・研究科パネルプレゼンテーション」を ご覧ください。

に、この周辺を「小丸スクエア」(こまるすくえあ)と命名し、永年にもわたり本学の学生支援の充実に寄与していただいた、小丸法之氏(財団法人渋谷育英会理事長)の功績を伝えるため、記念碑を建て除幕式を行いました。

星の最期?? 「軽い」超新星を発見! 広島大学などを中心とする研究グループ

(2010年5月20日)

広島大学、東京大学、マックスプランク研究所などを中心とする研究グループは、アマチュア天文学家・板垣公一さんが2005年に発見した超新星が最も軽い(太陽の10倍程度)種類に属する星の爆発であることを初めて突き止めました。

このような「軽い」超新星は、理論上、多数存在することが予測されていましたが、爆発の観測から直接確認されたのはこれが初めてです。これにより、超新星が宇宙の進化に与えた影響を研究するうえでも重要な手掛かりになると期待されます。



確認された超新星 国立天文台すばる望遠鏡提供

骨格は、広大発、世界標準のモデル 世界初の自動車用回路設計モデルが誕生

(2010年5月10日)

広島大学発の世界標準のトランジスタモデルが、実用段階に入りました。一般車載用IGBTの回路設計用トランジスタモデル「HiSIM-IGBT」。平成17年からトヨタ自動車株式会社、株式会社豊田中央研究所と共同で研究を進めていたものです。

これは広島大学が開発したMOSFETモデルHiSIM(Hiroshima-university STARC IGFET Model)を骨格とし、バイポーラトランジスタ部分のモデルと統合したもので、これにより、高精度の回路設計が可能になり、エネルギー利用の高効率化が大きく前進するものと期待されます。

「難病」治療への一つの道が拓けた 筋萎縮性側索硬化症の原因遺伝子を解明

(2010年4月28日)

筋萎縮性側索硬化症は、筋肉が萎縮し、筋力が急速に低下する病気で、治療法はまだ確立されていません。

これまでに原因遺伝子はいくつか解明されていますが、遺伝性のものはほとんどが不明でした。原爆放射線医科学研究所・川上秀史教授、丸山博文准教授らの研究チームは、遺伝性のものでうち血族結婚の家系で発症し、常染色体劣性遺伝が考えられる症例に注目し遺伝子の変異を発見。筋萎縮性側索硬化症の新たな原因遺伝子を解明しました。

鉄鋼のように強いプラスチックが広大で生まれた! 応用範囲は無量大! (2010年4月19日)

比強度は鉄鋼以上。安価で水に浮く軽さでリサイクルが可能なシート状の超高性能汎用高分子材料(汎用プラスチック)の創製に、大学院総合科学研究科の彦坂正道特任教授と岡田聖香博士研究員らが成功しました。JST産学連携事業の一環として、彦坂教授らの"高分子結晶化メカニズムの解明"という基礎科学的成果を発展させたものです。

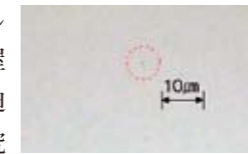
※比強度:引張強度を密度で割った値。異種材料の強度比較に用いられる。

このプラスチックは、厚さ10分の数ミリ。透明で成形しやすく、また、不純物がないためリサイクルしやすいという利点もあります。今後、自動車や産業用の鋼板やセラミックス、従来型プラスチックの代替などへの活用により、低コスト、省エネルギー、省資源、低炭素の持続型社会づくりへ貢献することが期待されます。

ナノスケールの研究が前進する? 極小のアンテナが開発されました。

(2010年3月15日)

80年前に日本で発明された古典的なアンテナ「八木・宇田アンテナ(数本の金属棒を平行に並べたアンテナ)」のナノスケールバージョンが広島大学で開発されました。大学院先端物質科学研究科・角屋豊教授、ホフマン・ホルガ准教授、小迫照和さん(博士課程後期3年)らの研究チームの研究成果です。



光学顕微鏡で見た光アンテナ(赤い波線の丸の中に見える中央の点が、アンテナ)

これまで、テレビ電波の受信には八

木・宇田アンテナを使ってきましたが、これを100万分の1のサイズで実現したのが、このアンテナ。分子や半導体量子ドットなど、極小ナノスケールの光源からの光の放出、検出の両方の増強が可能になり、センシングや分光をより効率的にさせるだけでなく、量子情報処理用光源の向上にもつながる可能性が期待されています。

続々、新発見! 広大「かなた望遠鏡」 世界初! 超巨大ブラックホールから噴き出る ジェット構造を解明

(2010年2月18日)

広大東広島天文台の「かなた望遠鏡」と日・米・欧共同開発「フェルミ」ガンマ線観測衛星の共同観測研究によって、超巨大質量ブラックホールから噴き出るプラズマジェットの構造が明らかになりました。



「かなた望遠鏡」で撮影された活動銀河「3C279」(53億光年遠方にある)

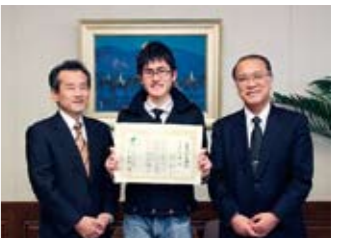
今回の観測は、53億光年の遠い距離にありながら明るく輝く「3C279」と呼ばれる活動銀河の観測を広大が提案したもので、X線衛星を含む多くの望遠鏡が参加。広大の「かなた望遠鏡」は、今回の観測成果を出すにあたり決定的に重要な、可視光の偏光データを取得しました。

自らの体験をベースに遺児支援 広大学生が日本学生支援機構優秀学生顕彰事業 の大賞受賞!

(2009年12月12日)

総合科学部4年生の青山陸紀さんは、「あしなが育英会」の募金活動やインドネシアにおいて1年間の津波遺児の心のケアなどの社会貢献活動を行ってきました。青山さん自身も高校時代に父親を亡くし、奨学金などに支えられて勉強を続けてきました。

こうした活動が評価され、日本学生支援機構優秀学生顕彰事業で社会貢献分野の大賞を受賞しました。



学長に大賞受賞の報告をした青山陸紀さん

広島大学 タイムトラベル

東広島キャンパス学生食堂の列



2006年 ■薬学部設置
■総合科学研究科設置
2004年 ■法務研究科設置
2002年 ■医歯薬学総合研究科、■保健学研究科設置
2000年 教育学部と学校教育学部を■教育学部に統合改組
教育学研究科と学校教育学研究科を■教育学研究科に統合改組

歴代学長

第11代学長
浅原 利正
(2007~)



第10代学長
牟田 泰三
(2001~2007)



第9代学長
原田 康夫
(1993~2001)



第8代学長
田中 隆莊
(1989~1993)



第7代学長
冲原 豊
(1985~1989)



第6代学長
頼實 正弘
(1981~1985)



第5代学長
竹山 晴夫
(1977~1981)



第4代学長
飯島 宗一
(1969~1977)



第3代学長
川村 智治郎
(1966~1969)



第2代学長
皇 至道
(1963~1966)



初代学長
森戸 辰男
(1950~1963)



1998年 ■先端物質科学研究科設置
1995年 ●学校教育学部東広島キャンパスに移転
●法学部東広島キャンパスに移転
●経済学部東広島キャンパスに移転
●文学部東広島キャンパスに移転
1994年 ■国際協力研究科設置
1993年 ●総合科学部東広島キャンパスに移転
1991年 ●理学部東広島キャンパスに移転

包ヶ浦で行われたオリキャン(1990年)



1989年 ●教育学部東広島キャンパスに移転
1988年 ●生物生産学部東広島キャンパスに移転
1986年 地域研究研究科、法学研究科、経済学研究科を改組し、
■社会科学研究科設置
1985年 環境科学研究科、農学研究科を改組し、■生物圏科学研究科設置
1982年 ●工学部東広島キャンパスに移転
1980年 ■学校教育研究科設置

東千田キャンパス図書館(1981年)



1979年 水畜産学部を■生物生産学部へ改組
1978年 ■地域研究研究科、■環境科学研究科設置
教育学部を■教育学部、■学校教育学部に分離改組
1977年 政経学部を■法学部、■経済学部に分離改組
1974年 教養部を廃止 ■総合科学部設置
1973年 ■薬学研究科設置
1972年 ■法学研究科、■歯学研究科設置

市の中パレード(1971年)



1968年 ■農学研究科設置
1967年 ■経済学研究科設置
1965年 ■歯学部設置
1964年 ■教養部設置
1963年 ■工学研究科設置

この後、大学紛争は「本部封鎖」へ発展(1969年)



1959年 ■医学研究科設置
1957年 ●医学部広島市霞町に移転
1953年 ■文学研究科、■教育学研究科、■理学研究科設置
■医学部設置

発足間もない頃の広島大学



1949年 広島大学発足 ■文学部、■教育学部、■政経学部、
■理学部、■工学部、■水畜産学部設置
■学部設置・改組 ■研究科設置・改組 ●校舎移転

資料・写真提供 / 広島大学文書館

広島大学歌

1 光あり

遠き山なみ 輝きて
新たなる日は ひらけたり
ああわれら
はてなき空に かたちなす
真をぞ きはめん望みなり

2 流あり

古き歴史は 七筋に
わかれてとはに 伝へたり
ああわれら
移らふ時に かはらざる
善きをこそ 努めん集ひなり

3 緑あり

つよき不死の樹 廣ごりて
葉末は風に そよぎたり
ああわれら
明るき道に 影しるす
美しきもの 求めん願ひなり

広島大学選定歌詞
広島大学教育学部音楽科 作曲

荘重に・力強く (♩=100~108)

